

## 第2912回例会 令和5年11月16日(木)

出席委員会委員長	池田 榮三
会員総数	20名
本日の出席者(免除者)	13名(2名)
本日の出席率	72.2%

### 会長あいさつ

会長 鳥居萬里君

本日は、高浜 RC より IM の PR にお見えになりました。鈴木隆昭君と牧野規生君です。そして本日の卓話者は地区 R Y L A 委員会委員長の田中靖達君です。青少年奉仕は我がクラブではほとんど活動していませんが、ボーイスカウト第 10 団に毎年助成をしております。我がクラブから、田中三千雄君には地区に出向して頂いております。今日は青少年奉仕活動について教えて頂きたいと思っております。

先日は地区大会には多数ご参加いただきまして有難うございました。懇親会では龍神みつやまで楽しめたのではないかと思います。地区大会の時にバナーをいただきました。会員一人当たり 100 ドル全員の寄付に対してお礼のバナーをいただきました。因みにバナーの意味について少しだけ調べてみました。

1. 横断幕(横長の布)、懸垂幕(縦長の布)

2. 信義. 大義名分

3. 旗. 旗じるし

4. バナー広告 主にインターネットでの広告になりますが、ウェブページで他のウェブサイトを紹介する役割を持つ画像の事(アイコンの一種)

いろんな事業とか活動の宣伝効果にはバナーは非常に有効ではないかと思いましたが、だいぶ以前になります。ペナントというものがありました。細長い三角形の小旗です。現在ではあまり見られなくなりました。時代を感じさせられます。

### 今週のスマイル

親睦委員長 渡邊 徹君

田中靖達君(地区 RYLA 委員長 瀬戸 RC)

地区 RYLA 委員会の田中です。本日卓話をさせていただきます。よろしくお願い致します。

鈴木隆昭君/牧野規生君(高浜 RC)

鳥居萬里君 地区 RYLA 委員長、田中靖達君卓話よろしくお願ひします。また IM の PR 高浜 RC の鈴木君、牧野君よろしくお願ひ致します。

神谷 林君 本日は田中君の卓話よろしくお願ひします。鈴木君、牧野君もようこそ。

田中三千雄君 RYLA 委員長よろしくお願ひします。

早川比呂太君 RYLA 委員会田中委員長ご指導よろしくお願ひします。また高浜 RC 鈴木様、牧野様 PR よろしくお願ひします。天月さんもようこそ。

山下民義君 RYLA 委員長田中さん、本日の卓話ご苦労様です。高浜 RC の鈴木さん。牧野さん西尾一色 RC へようこそ。

藤井知明君 RYLA 委員長田中様、卓話よろしくお願ひします。

渡邊 徹君 地区 RYLA 委員長田中靖達君、本日は卓話よろしくお願ひします。鳥居会長、神谷幹事、先日はありがとうございました。

9件 24,000円

### 本日の卓話

## 「青少年の育成における地区 RYLA 委員会の役割」

地区 RYLA 委員会 委員長 田中靖達君



本日は、この歴史あるこの西尾一色ロータリークラブ様の例会にお招き頂き、誠にありがとうございます。私は本年度、第 2760 地区 RYLA 委員会の委員長を務めさせて頂いております。瀬戸 RC より出向して本年で 7 年となります。

西尾一色ロータリークラブ様には昨年度より田中三千雄君をご輩出いただき、大変感謝しております。今年度も会場班の班長として皆さんをまとめて頂き、今回の会場である豊田へ打合せに何度も通って頂いております。ありがとうございます。

本年度の地区 RYLA 委員会では RYLA のことをもっと知ってもらおうと、ご希望を頂いたクラブ様へ伺って、RYLA とは何? から RYLA セミナーの魅力を話させていただいております。

それではまず簡単に自己紹介をさせていただきます。

私は 1972 年 8 月 8 日に生まれまして今年の 8 月に、51 歳になりました。たしか西尾一色様は 1962 年 10 月 25 日が創立記念日だと伺いましたので、私の方が 10 歳若いんですね。年齢をいうと見た目からしたら以外と若いと言われますが、要は老けているだけです。仕事は総合設備工事業で(株)タナカポンプという会社を営んでおります。主に水道工事をしております。在籍しております瀬戸ロータリークラブには 9 年前に入会をさせていただきました。父が瀬戸ロータリークラブで活動しておりましたが、病気で選手交代となったわけです。

地区の RYLA 委員会への出向は、瀬戸が 2018 年に RYLA セミナーのホストクラブを担当するという理由で私が送り込まれたということです。2 年~3 年やってクラブに帰ってこようと思っておりましたが、気が付いたらこういう状態です。

RYLA というこの言葉、皆様は何の略か分かりますでしょうか。これはロータリー ユース リーダーシップ

アワーズの略で、ロータリー青少年指導者養成プログラムのことを指します。

そしてRYLAとは、受講生がリーダーシップを発揮したい、自分の可能性を広げたい、世界を変えたい・・・ちょっと大げさですが、そういうきっかけになればと思っております。14歳～30歳の若い世代を対象とした短期集中型のリーダーシップ育成プログラムで、受講生が新しいスキルを学びながら、地域社会と関わり、個人的・職業的に成長できる機会を与える場となっております。

#### RYLAプログラムの目的

これはロータリアンに対してですが、若者のリーダーシップスキルを磨き、地域に貢献している若者を表彰すること。若者の心に生涯にわたる奉仕の精神を育み、ロータリーを通じた奉仕の機会へと導くこと。若者のリーダーシップ育成を支援することにより、ロータリーの青少年奉仕を実践することです。要は若者にリーダーシップ研修を通して奉仕の心を育ませることです。

#### そしてRYLAでできること

受講生にとっては、地元で活躍する人や豊かな経験を持つ人たちと一緒にコミュニケーションや問題解決のスキルを磨くことが出来ると共に、学校や地元地域で活躍できるリーダーとなる方法を発見することができます。また、地元を動かすリーダーによる指導、意欲を高める講演、仲間との交流を通じた学び、自分の可能性を発見し、行動へとつなげることで、そして楽しみながら生涯続く友情を育むことができます。

#### RYLA委員会の役割

結論から申しますと「若い人々が考える環境を提供すること」であります。RYLA委員会メンバーはカウンセラーとしてヤングカウンセラー（RYLA学友会）と共にセミナーを進めますが、受講生に対して決して私たちの考えを押し付けたり、結論を導き出すことはしません。受講生自身が答えを見付けることがこのセミナーの素晴らしさでもあります。

では我々、ロータリアンは何ができるのでしょうか。それは「何ものをも求めず、ひたすら未来のために種を蒔くこと」であります。RYLAセミナーで蒔いた種が若者たちの心に、いつか芽生えるかもしれない。我々は例え芽が出なくても、結果を求めず、ただひたすらに種を蒔き続け、そして未来に夢を託すことが大切だと思っております。

ここまで小難しい話をしてきましたが、ここで少し動画を観てもらいましょう。昨年開催されましたRYLAセミナーの様子をダイジェストにしたものです。まずはセミナーの雰囲気を感じて貰えればと思います。それではどうぞご覧ください。

それでは近年のRYLAセミナーをご紹介します。

第26回RYLAセミナーは2018年3月に全トヨタ労連研修センター つどいの丘にて開催されました。この時のホストクラブが瀬戸RCで、私はこの為に地区へ出向することになりました。

基調講演講師にはスキー・ノルディック複合の元オリンピック選手の荻原健司（おぎわら けんじ）さんに依

頼しました。私にとってはこれが初めてのRYLAセミナーで、ホストクラブである瀬戸と地区RYLA委員会との橋渡し役に徹していました。

第27回RYLAセミナーはホストクラブの名古屋東南RC様の都合がどうしても合わず、RYLA委員会のみで行う事になりました。通常1年掛けてハードの部分ホストクラブ様が。そしてソフトの部分、RYLA委員会とRYLA学友会が組み立てていましたが、この年はRYLA委員会とRYLA学友会のみで行うことになりまして・・・しかも当時のRYLA委員長が今年は2回行おうと言ってしまったので大変でした。今思えば笑い話ですが。結果は両方とも大成功に終わりました。

そして第28回RYLAセミナーは、前年度のRYLAセミナーのホストの予定でありました名古屋東南RC様が改めてホストをやって頂けるということで、RYLA委員会と名古屋東南RCのセミナー実行委員会様と合同での準備を行っていましたが・・・ここからです、コロナの影響が出てきたのは。

この時は、年明けまでセミナー開催のために準備を進めていて、後は細かい詰めを残すところでしたが、突然、中止に追いやられました。

次の年のセミナーまでには、このウイルスに効く特効薬なんかも出て通常の社会に戻っているだろうと安易に考えていました。

そして翌年の第29回は皆様もご存じの通り、新型コロナウイルス感染症は収まるどころか猛威を振るうわけですが、年度当初、ガバナーより本年度は何としてでも開催して欲しいという話があり、我々もいつどうなるかわからないコロナを前にどうやって開催しようか悩みました。

今までのRYLAセミナーは、対面で膝を突き合わせ、とことん議論をし、寝食を共にすることで、個人として自分を変えていくきっかけが生まれたり、連帯感が生まれると、今まで言われてきましたので、対面開催が無理なら、今年も出来ないだろうと思っていました。

ただ我々は当時のガバナーからの「何としてでも開催を」という言葉がありましたので、対面で行う場合と、オンラインで行う場合の両方を作り、最後にどちらかにしようという意見でまとまりました。しかし開催の直前にどちらかに決めるということは、会場、備品など準備が間に合わないばかりか、セミナーのクオリティにも影響が出るので、コロナの影響でどちらかにするのではなく、初めから対面とオンラインを合体させて、どのような状況になっても開催ができるハイブリッド型開催を考案しました。

まず基調講演は事前に収録して、セミナー開催の前に受講生に事前に視聴して頂きました。これによって会場での講演が出来なくなった時にでも講演を受けることができました。

そして会場は自由度が高かった豊橋のロワジュールホテルを確保し、受講生も含め宿泊者は全員シングルルームを用意し、分科会は会議室の大きさに合わせて人数を割り振り、消毒、換気を徹底することで、開催の可能性を高めていきました。

最悪、対面での分科会が開催できなくても各自部屋か

らオンラインでつなげて受講できるように通信設備もホテルの足りない部分を、こちらで用意して準備万端にしました。

結果、奇跡的に開催日の直前にまん防が解除されて、セミナーは無事に開催することが出来ました。本当に奇跡でした。

そして第30回RYLAセミナーは記念すべき回なので、当初は離島で2泊3日のセミナー開催を考えていました。その時期はコロナも一旦、落ち着いてきていましたので、もし感染者が増えてきても、現地でもまたハイブリッドでやれば大丈夫だろうと思っていました。しかしあまりに強い感染力のため、もし感染者が出た場合、深夜に体調を崩す人が出た場合に病院まで搬送できないのはマズイという理由で離島での開催は難しいという判断になりました。最終的にコロナ禍での開催をするために、どんな状況でも問題なく開催できる場所、それは第27回のセミナー会場にもなりました豊田市福祉センターでした。市街地にありますので病院なども近く、開催に必要なものが常設しているのが最大の理由でした。

しかしまたしても2月ぐらいからコロナの新規感染者数が爆増してきました、世の中でも様々な規制が出てきました。

そんな状況でセミナーをやるのか、これ以上、感染者が増えた場合、ハイブリッドで開催出来るのか、それとも中止するのか、中止するならどのタイミングで決断するのかという話が委員会内で始めました。

当時私は委員会の副委員長であると共にRYLAセミナー実行委員会の実行委員長という立場でしたので、委員会、学友会メンバーからの意見、受講生を輩出しているクラブからの質問、そして受講生の中でインターアクトクラブに所属している方の学校の先生などからも開催するのか、学校としての規定では行かせられないなど開催の条件を確認する質問や意見が多数、私のところに寄せられ、毎日、朝に会社でパソコンを開くとその対応で午前中は潰れていました。

この時、新規感染者数、重症者は前年度の時よりも多く、死亡者も多い状況でした。そして時期的にも学生の感染者が爆増しているときでしたので、さすがに対面を混ぜたハイブリッド開催は無理という結論になり、急遽、フルオンラインにする案を作りました。それが開催日の1週間前です。

当日は福祉センターの大ホールにて開講式、閉講式も行い、ガバナーをはじめ関係者の言葉も受講生全員に生配信で届けることができました。

こうして開催した第30回RYLAセミナーは初めてフルオンラインでの開催を業者なしで開催し大成功させることができました。

そして昨年開催をしました第31回のセミナーですが、コロナ感染者数は相変わらず上がったり下がったりしていましたが、開催の1週間前には屋内、屋外問わずマスクの着用は個人の判断に委ねるということにもなり、ようやく社会の進むべき方向が見えてきたように感じていました。

セミナー1としてフルオンラインで開催し、その2週間後にセミナー2として対面でキャンプ場にて開催をす

る構成にしました。私自身、このセミナーでは受講生に失われた3年間の閉塞感を打破して欲しいという想いがあり、大声で笑ったり歌ったりできるプログラムを盛り込みました。ただしコロナ感染者数が突如、上がることも考えてセミナーを2つに分けて開催中止にならないようリスクを回避する安全策もちゃんと用意しました。

セミナー1では各分科会に分かれて受講生の皆様は自己紹介、自分の夢を仲間に話したり、テーマである「夢を咲かそう!」を考えてみたりする時間とし、セミナー2はキャンプ場にてその施設ならではのアウトドアを体験しながらチームワークを学んでもらいました。当日、あいにくの雨でしたが、全天候型の施設でしたので予定を変更せずに開催できました。

結果的にこの方法が様々なことを考慮しても近年のRYLAセミナーとしては一番良い流れだと思いました。新たなスタンダードになると実感しています。

それではここで我々RYLA委員会と共にセミナーの設営をしてきていますRYLA学友会をご紹介します。

RYLA学友会とはRYLAセミナーを受講した18歳~40歳の学生、社会人からなる組織です。インター、ロータリーアクト、青少年交換出身のメンバーも多数在籍し、最近ではロータリアンとしても活動しているメンバーもいます。彼らは組織の活動目的、方針、予算を定め、RYLAセミナーだけでなく地区大会をはじめロータリーにおける青少年奉仕の様々な事業に出席しております。WFFにも毎年、RYLA委員会と一緒にブースを出して、こども向けの工作など大人と子どもが楽しくふれあう機会を提供しております。

ホストクラブ制度が無くなった今、セミナーを開催するにあたり、彼ら無しではありえないくらい頼もしいパートナーです。

それでは、だんだんとまとめに入ります。

私の考えるRYLA委員会の役割

これは受講生、RYLA学友会へ向けてです。セミナーの設営・運営はもちろんですが、まず一つ目は「価値観の多様性、視野を広げることの大切さを伝える」学校の勉強では1+1=2ですが、社会にでるとそうじゃないよ。答えはたくさんあるよ。二つ目は「大人として扱い決断と行動には責任が伴うことを教える」三つ目は「あきらめない心の大切さを伝える」これらを私はセミナーで受講生には言っていますし、RYLA学友会にも企画時とかに毎回、言っています。そして四つ目は「未来のロータリアンを育てる」

こんな素晴らしいことを教えてくれる大人の我々が愛して止まない組織に君たちも将来、入らないかい?と未来のロータリアンを育てることだと私は思います。

私の考えるRYLA委員会で得られること

こちらはロータリアンに向けてですが、高いスキルを持ったRYLA学友会メンバーとの交流により、若者の新鮮な視点や考え方をリアルタイムに知ることができ、家庭、会社、ロータリー活動でも役立てることができる。もう本当、これに尽きます。

それでは最後に告知をさせていただきます。

本年度開催を致します第32回地区RYLAセミナーは昨年と同様、2回に分けておこないます。

まずはセミナー1を2024年3月16日（日）フルオンラインにて開催します。そしてセミナー2を2024年3月30日～31日（土・日）豊田市福祉センターと豊田市総合野外センターにて行います。

今回のテーマは「己を知り、夢を語ろう」～自分の未来は変えられる～です。

昨年同様、とセミナー1では自己紹介からそれぞれの夢などを話ながらコミュニケーションを図っていきます。セミナー2では野外活動を中心にリーダーシップについて考えていくことになると思います。

また基調講演も従来のように誰かの話を聞くのではなく、今回は言葉ではなく、五感で感じてもらいながらテーマを理解して貰うために、演劇の公演を受講生と同じ世代であります、瀬戸市にあります聖霊高等学校演劇部にテーマに沿ったオリジナルの演劇を公演してもらいます。

先月末より募集が始まっています。是非ともお子さん、お孫さん、会社の従業員さんなど参加のお誘い、ご申し込みをお待ちしております。昨年、うちの娘と息子も受講しましたが、なかなか良かったとの感想でした。なんとか親父としての威厳を保つことができました。

もう一つの見どころとしましては、昨年度より田中三千雄君が当委員会に来てくれております。今年度は会場の班長として個性の在りすぎるメンバーを束ねてくれています。そんな彼の姿を見るだけでも大変貴重でありますので、是非、ご登録をいただいて彼の勇姿に感動をしていただきたいと思っております。

今後とも地区RYLA委員会、そしてRYLAセミナーへのご支援をよろしくお願い致します。



2023～24年度西三河分区インターシティーミーティングのPRがありました。

鈴木隆昭君/牧野規生君（高浜RC）



米山奨学生 李天月さんに奨学金をお渡ししました。



### 今週の献立

【福きたる】



### 俳句同好会より

句会が11月16日（木）に開催されました

神の子や 翔平聡太 二つ星  
 月並みの 一步手前や 十三夜  
 散歩道 犬の視線に 曼珠沙華  
 掃いて又 昨日の倍の 落葉かな  
 秋の夕 口笛吹いて 道のりを  
 こおろぎの 鳴き声聞けずに 季節行く

鳥居万里  
 笠井保志  
 露月  
 山下民義  
 神谷たまご  
 近藤美心

